

総合家具の設計研究（継続）

No. 1 奄美産材の高度利用

鮫島正登美

1. 目的

現在あまり利用されていない奄美産材を、材そのもの持つ特性をフルに生かした製品開発を目的に、今回は、個室のための家具リビングセットの設計を試みた。

2. 概要

12丈から20丈の社長室兼応接室を念頭において設計をしたが、社長室又は応接室の生活必需品として、木製が良いと思われる物はいろいろあるが、社長室としては、両袖机、脇置机兼電話台、ロッカー、花台、書棚、サイドボードを応接室としては、応接11点セット

(アームチェアー、ソファー、テーブル、サイドテーブル) サイドボード、書棚、ロッカー、花台を設計する。

かぎられたスペースの中での未利用木材高度利用のために、抽斗前板及び鏡板等にボリュームを持たしたものとし、脚は前縁同様の切面で統一した角脚とした。

設計どおりのものを作品化するなら、奄美産未利用材も高級家具材として売出し得ると自認する。

No. 2 一般家具及びクラフト製品

1. 目的

依頼業者のための設計研究を行ない配布する。

2-4 依頼業者の要望により、移輸送のためのノックダウン用式を取入れた屋久杉飾棚設計、配布

2. 概要

依頼者の使用目的、使用場所、金額等により、設計の外観的要素もちがうが、材質、機能、形態、色彩などすべてを考慮に入れ設計したものを下記のとおり配布した。

2-1 一部の物は原函渡し手数料をとる。

2-2 一部は家具展用として配布

2-3 ロック業者の個展用としてクラフト製品の設計をし、配布

3. 成果

家具展及び個展出品物は好評を得たが、ノックダウン用式の飾棚については、一考を要する。

ロータリー切削による単板の製法と接着

鎌田正義

1. 目的

国内随一の硬質材といわれているイス材の利用度が一部のフロニング(床板)木刀等に使用されている現状で、この特殊な性質を生かしその利用面の研究をし、近代建築と生活様式の変化にともないこれをロータリー単板の化粧板として取入れ、製品の高度利用の開発を図る。

2. 概要

研究の一端で現在企業化の域に達しているものもあるが、その利用面としては一般住宅は勿論、事務所、病院等の一部でバケット式床板で利用されている。これをさらにロータリー単板の化粧板として厚みを利用場所により、夫々に区分すると同時に接着材の配合等の構成をほどこし次の要領で試作研究を行なった。